


【事例】 移住・二地域居住促進のための伝統的住宅の体験型住宅としての活用

<p>社会資本の概要</p>	<p>【所在地】 山形県最上郡金山町 【社会資本の種類】 街並み 【社会資本の名称】 金山型住宅 【事業主体】 金山町</p>
<p>配慮の概要</p>	<p>移住・二地域居住を促進するため、官舎として使用されていた金山型住宅を体験型住宅として移住希望者に提供している。また、金山ならではの美しい街並み形成を促進するため、金山型の建築希望者には助成を行っている。 【実施開始時期】 2006年</p>
<p>位置図</p>	
<p>施設の状況写真</p>	 <p>明治20年建築の元旅籠で、現在は一般住宅として使用されている「金山型住宅」の原型。</p> <p>「金山型住宅」と石畳みの通路、水路により街並みが形成されている街の中心部。</p>

観光との関わり	<p>山形県金山町の「金山型住宅」は、切り妻屋根に白壁と杉板張りという伝統的な建築様式であり、そのたたずまいは周囲の自然と調和している。この美しい家並みによって形成される独特の景観が金山町の特長である。また、近年同町は、金山型住宅を短期滞在用住宅として利用し、「金山暮らし」として草木染めや蕎麦打ち、林業体験などの様々な体験活動を提案している。さらに本格的な「金山暮らし」の相談にも応じて移住や二地域居住を促進する活動を行っており、新しい目的で町を訪れる人が増えている。</p>
配慮事項	<p>○金山型住宅を利用した美しい街並みの形成</p> <p>金山町では1984年から「街並み(景観)づくり100年運動」を提唱して、金山型住宅を利用した美しい街並み形成を推進してきた。これは、金山型住宅という独特な建築様式による住宅の普及によって、金山ならではの美しい家並み景観を維持・創出するという運動である。この運動を促進するために金山町は助成金制度を設けている。</p> <p>金山型住宅という独自の建築様式に着目し、その普及を促すことによって街並みを形成するという方針が功を奏して、金山町は稀有な景観を形成している。</p> <p>○金山型住宅を利用した地域経済の活性化</p> <p>金山型住宅の建築の推進は、景観形成とともに地域経済の活性化を実現するための手段でもある。すなわち、金山型住宅は地産の金山杉を建築材とし、地元の職人が代々継承されてきた工法により建築されるため、金山型住宅の建築件数が増加すれば、街並みの景観が維持されると同時に地域経済も活性化されるという仕組みとなっている。</p> <p>○金山型住宅を活用した移住・二地域居住の促進</p> <p>さらに金山町では「SUI～と・かねやまプロジェクト」を立ち上げ、「金山型住宅」を活用して金山への移住や二地域居住を促進している。具体的には利用されていなかった金山型住宅の官舎に改修工事を施し、短期滞在のための体験型住宅として活用し、域外の50歳以上の人とその家族に金山暮らしを実際に体験してもらうというものである。また、同プロジェクトでは、移住者が金山町内に金山型住宅を建築する場合の助成金制度も整備されており、移住者や二地域居住者によって金山型住宅がさらに普及するという効果も期待されている。加えて、短期滞在制度がより有意義に活用されるよう、各種の地域体験プログラムも用意して制度の充実を図っている。</p> <p>このプロジェクトの成果として現在4人の移住者を迎えることができている。</p>
連絡先	<p>金山町役場 TEL:0233-52-2111(代表) 総務課総合政策係(SUI～と・かねやまプロジェクト) 産業課商工景観交流係(街並み景観づくり100年運動担当) http://www.town.kaneyama.yamagata.jp/</p>